

誰でもわかる広島(芸北)神楽年表

年代	芸北地域(石見地方含)		広島	日本	
	神楽	できごと	できごと	できごと	社会
1600年代後半	石見地方の神楽が江の川流域を登り高田郡(現安芸高田市)へ、太田川流域を登り山県郡へ伝わった。		1675(延宝3)浅野長治が死去	1687(貞享)4「生類哀れみの令」が出される	
1800年代後半	明治政府により神職神楽演舞禁止令が出され、神職から民間へ神俗交代が行われ民間神楽舞が石見一円に波及した。 1882(明15)第一次台本改定				
1930年代	この頃の神楽は主に神主が舞う儀式舞が中心で、儀式舞に若干の芸能性を加えた能舞も素朴で余興性は乏しかった。 秋祭りの初夜(ヨゴロ)、神社の境内で舞われていた。	1930(昭5)広島電気の加計発電所落成 1937(昭12)美土里町塩瀬と千代田町の道路開通	1930(昭5)県農会が農村不況対策で大臣・県知事に陳情を行う 1931(昭6)失業者救済として宮島観光道路を建設する 1935(昭10)可部線可部-安芸飯室間が開通する	1931(昭6)満州事変 1933(昭8)国際連盟を脱退 1937(昭12)日中戦争始まる	
1940年代	1947(昭22)・戦後、GHQによる戦後処理の中で、神道色の強い神楽は上演禁止の危機に立たされたが、検閲局が置かれていた福岡まで出かけ、検閲局の認可書もらった。 ・教員であった佐々木順三氏(美土里町)によって、謡曲や能、歌舞伎に登場する神々を中心とした新作神楽台本が発表され、単純だった舞に演劇性が加えられ、またたく間に広まった。 ・初の神楽大会「芸北選抜神楽競演大会」が加計町で開催された。 1949(昭24)・「第1回芸石神楽競演大会」が千代田町で開催された。		1945(昭20)広島市に原爆が投下される 終戦 1947(昭22)第1回知事・市町村選挙が実施される 1949(昭24)「広島平和都市建設基本法」が成立 国立広島大学が設置される	1941(昭16)太平洋戦争始まる 1945(昭20)戦争終結 1946(昭21)日本国憲法公布	太平洋戦争 戦後の復興
1950年代	1954(昭29)鐘馗(梶矢神楽団)、神降し・八岐大蛇・天の岩戸(有田神楽団)が県無形民俗文化財に指定される 1955(昭30)神迎え(青神楽団)、神降し(桑田天使神楽団)が広島県無形民俗文化財に指定される	1954(昭29)千代田町が誕生 国鉄可部線、加計まで開通 1955(昭30)大朝町が誕生 1956(昭31)美土里町が誕生 高宮町が誕生 芸北町が誕生 豊平町が誕生 国民本郷線が加計まで開通し、筒賀駅(現・田ノ尻駅)が開設された。	1950(昭25)広島カープ球団の結成 1951(昭26)第6回国民体育大会 1952(昭27)RCCがラジオ放送を開始 1957(昭32)広島市民球場の完工式・天燈式が挙行	1950(昭25)朝鮮戦争が始まる 1952(昭26)講和条約が発効し、日本は独立国となる 1953(昭28)NHKがテレビ放送を開始 町村合併促進法が制定 1958(昭33)こだま号の運転開始	「昭和の大合併」が行われた 50年代前半、技術革新がすすんで新鋭工場が次々に建設された 「もはや戦後ではない」とまで言われた 55-57年「神武景気」 50年代後半、「大衆社会状況」のはじまり。節約にかかわって消費が美德とされるようになった
1960年代	1960(昭35)伊賀和志神楽団、県の無形民俗文化財に指定される	1963(昭38)「三八(さんばち)豪雪」 1964(昭39)高宮町商工会誕生	1961(昭36)広島空港が開港 1962(昭37)みなと祭り 1965(昭40)太田川放水路の通水式が挙行 1967(昭42)新広島バイパスが開通	1960(昭35)カラーテレビ放送開始 1961(昭36)農業基本法が公布 1962(昭37)貿易の自由化 1964(昭39)東京オリンピック 1965(昭40)ベトナム戦争が始まる	1958-60年「岩戸景気」 「エネルギー革命」石炭→石油 証券ブーム 安保反対闘争が広まる 「交通戦争」という言葉が生れる 池田内閣の「所得倍增計画」→経済大国日本への道 生活の向上と大量消費 学生運動が始まる

1970年代	1971(昭46)広島市中区の体育館で初の神楽競演大会「広島県神楽競演大会」が開催された(広島山県郡友会主催)。 1974(昭49)～女性団員の登場がみられるようになった。 1979(昭54)原田、佐々部、羽佐竹、山根神楽団(安芸高田市)が県無形民俗文化財に指定された。	1970(昭45)豊平町、過疎地域の指定を受ける「原田はやし田」国の選択民俗芸能に指定、万国博覧会にも出場する。 町の過疎地域振興計画を策定 1972(昭47)「四七(よんなな)豪雨」、江の川が氾濫し人口減少に拍車 「千代田工業団地造成調査報告書」が出される 1979(昭54)中国自動車道千代田～三次間の開通 高田インターチェンジの供用開始	1970(昭45)「過疎地域対策緊急措置法」 1973(昭48)中国縦貫道の県内工事が着工する 1974(昭49)土師ダム竣工式 広島センタービルが開業 1975(昭50)山陽新幹線開通(岡山～博多) 広島カープがセ・リーグ初優勝 1977(昭52)フラワーフェスティバル始まる	1970(昭45)大阪万博 1973(昭48)オイルショックが起こる 1974(昭49)国土利用計画法が公布 1978(昭53)成田空港が開港	学生運動が続く
1980年代	1982(昭57)来女木神楽団、県無形民俗文化財に指定される 1986(昭61)初の豊平町無形民俗文化財、神楽8団体を指定	1980(昭55)第1回高宮町民文化祭開催 1982(昭57)陰陽広域協議会の企業誘致 1984(昭59)千代田最大の店舗「サンクス」が開店	1980(昭55)広島市が政令指定都市となる 1983(昭58)中国自動車道の全通 1985(昭60)広島市が人口100万人を超える 1989(昭64)海と島の博覧会	1982(昭57)500円硬貨が発行 1986(昭61)三原山噴火 チェルノブイリ原発事故 1988(昭63)「ふるさと創生1億円事業」	おしんブーム
1990年代	1993(平5)初の劇場ホールでの神楽大会「SUPER KAGURA 神々の詩」 1994(平6)第1回高宮神楽共演大会 1998(平10)神楽門前湯治村がオープン(安芸高田市美土里町) 1999(平11)「第1回ひろしま神楽グランプリ」(安芸高田市美土里町神楽ドーム)	1990(平2)上根バイパス工事開通 高宮工業団地にサンクリーン広島高宮工場が進出第1号企業として立地された。 広島ニュージージーランド村がオープン 1994(平6)ふれあい公園が「道の駅豊平どんぐり村」として登録される 1996(平8)豊平町総合体育館(とよひらウイング)完成 1997(平9)原田はやし田「安芸のはやし田」として国の重要無形民俗文化財指定	1991(平3)中国横断道路広島-浜田線の全通 1993(平5)サンフレッチェ広島が結成される 山陽自動車道が県内全通する 1994(平6)アジア競技大会が開催される 1996(平8)国民体育大会が開催される 1994(平6)アストラムライン開業 1999(平11)瀬戸内しまなみ海道が開通する 「広島ゆかた祭り」が始まる	1992(平4)通称「お祭り法」の制定 1995(平7)阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件 1996(平8)アトランタオリンピックが開催される	[平成の大合併] 情報化社会、インターネット、携帯電話の普及
2000年代	2001(平13)「第1回春選抜 吉和神楽競演大会」(廿日市市吉和) 2002(平14)競演大会の数を共演大会が上回る 2003(平15)ロシアサンクトペテルブルグ市建都300年記念祭において神楽上演(中川戸・山王・東山・八重西神楽団合同) 2004(平16)Theひろしま神楽in広島城(広島県大型観光キャンペーン)	2004(平16)安芸高田市、安芸太田町が誕生 2005(平17)北広島町が誕生			2005(平17)人口の自然減が始まる

参考文献

1. 赤木昌彦他 「図説広島市の歴史」 2001 郷土出版社
2. 秋田隆幸他 「図説備北・安芸吉田の歴史」 2000 郷土出版社
3. 篠原一 「父が子におくる1億人の昭和史」 1978 毎日新聞社
4. 広島県 「広島県史」 1984 広島県
5. 佐々木順三他 「美土里町の歴史と伝説」 1972 美土里町
6. 千代田町役場 「千代田町史民俗編」 2000 千代田町役場
7. 千代田町役場 【千代田町史近代現代資料編】 1998 千代田町役場

2006.9

NPO広島神楽芸術研究所

事務局次長 高崎 義幸